



JA新しいわての自己改革

もっと知ろう、JAの取り組み

JA新しいわての「農家所得の増大」や「地域の活性化」に向けた取り組みを紹介。
今月は、担い手ニーズに応える「農業リスク診断活動」の取り組みについて紹介します。

農業リスク診断活動とは

現在、国の政策により進められている農家の大規模化や法人化、これに伴う6次産業化などにより、従業員の雇用や出荷した農産物・加工品の回収など新たなリスクも増え、多様化しています。こうしたリスクを回避し、その影響を最小限に抑えるため、発生し得るリスクをしっかりと認識し対策を講じることが大変重要です。小さなトラブルでも、対応が甘かったばかりに結果として経営上の重大な損失を招いたり、農作業の労働力不足につながったりする恐れもあります。JAでは、このような状況を踏まえJA共済と連携して「農業リスク診断活動」を進めています。

農業には、様々なリスクが潜んでいます

農業には、次のようなリスクが考えられます

農業を営むうえで発生するリスク

- ・農作業中のケガ
- ・自動車事故
- ・農業用施設の損壊
- ・第三者への賠償
- ・出荷した農産物の回収
- ・貸倒れ

日常に潜むリスク

- ・ご自身が万一の場合
- ・ご自身の就農不能
- ・現金盗難
- ・顧客情報漏洩

農業経営を取り巻くリスク

- ・経営者が万一の場合
- ・従業員の退職
- ・労務管理
- ・休業

農業は建設業に比べても危険といわれており、毎日およそ200件もの農業事故が起きていると推定されています。農業リスク診断を通して身近に潜んでいるリスクに気が付き、対策を検討していただくきっかけになればと思います。



生産者の声



ひなた せいいち
日向 清一さん (68) (滝沢市篠木)

会社勤めの時は、見えないけれど何かあった時のための備えは会社がやってくれていました。農業は1経営者になるので、すべて自分でやらなければなりません。自分では意識しているつもりでも、保障なども気付かない事があります。

今回、あらためてチェックして分かったリスクもあり、助かりました。